

様式 4

| <p style="text-align: center;">令和 6 年度 第 4 回</p> <p style="text-align: center;">富士見市図書館協議会</p> <p style="text-align: center;">議事録</p> | | | | | | |
|--|--|--|--------|--------------|------|------|
| 日 時 | 令和 7 年 3 月 7 日 (金) | | 開会 | 午前 10 時 00 分 | | |
| | | | 閉会 | 午前 11 時 30 分 | | |
| 場 所 | 中央図書館 レセプションルーム | | | | | |
| 出席者 | 委 員 | 出井委員長 | 檜山副委員長 | 小林委員 | 金高委員 | 今井委員 |
| | | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 神馬委員 | 本木委員 | 野澤委員 | 金子委員 | 渡邊委員 |
| | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 事務局 | ○教育委員会生涯学習課 岡課長 森田主査 ○図書館 長谷川中央館館長 田畑中央副館長 大里鶴瀬西分館長 下川ふじみ野分館長 | | | | |
| 公 開 ・ 非 公 開 | 公開 (傍聴者 1 名) | | | | | |
| 次 第 | 1. 開会 2. 各館事業報告 令和 6 年度 12~1 月 (中央・鶴瀬西・ふじみ野) 3. 閉会 | | | | | |
| 配 布 資 料 | ・富士見市図書館協議会 令和 6 年度 3 月定例会次第 ・令和 6 年度 12~1 月活動報告 (中央・鶴瀬西・ふじみ野分館) ・「さざなみだより」2025 年 1・2・3 月号 ・「つるせにししんぶん」2025 年 1・2・3 月号 ・「ぶんちゃんしんぶん」2025 年 1・2・3 月号 ・「とびらしんぶん」2025 年 2 月号 ・「BOOK ADVENTURES」251 号・252 号 | | | | | |
| 議 事 内 容 | | | | | | |

| | |
|--------------------|--|
| <p>図書館 委員長</p> | <p>1. 開会 開会あいさつ</p> |
| <p>図書館</p> | <p>2. 各館事業報告（令和6年度12～1月）</p> <p>【中央図書館】 資料に基づいて報告</p> <p>「おはなし会」「映画会」「団体貸出」「障がい者サービス」などの活動は報告書の通りである。</p> <p><テーマ展示> 12月に行ったミニ展示の「昔の道具と昭和の暮らし」はこの時期難波田城資料館で開催されていた企画展「作って食べるむかしの道具」とのコラボ企画であった。図書館では昭和に関する本を集めて展示した。 1月の展示では1月から始まったNHKの大河ドラマ「べらぼう」の主人公「蔦屋重三郎」を取り上げた。</p> <p>自主事業について報告する。</p> <p><ミニコンサート> 12月は篠笛、1月はピアノによるコンサートを行った。ミニコンサートはファンが定着してきた感がある。どちらも50名近い集客であった。</p> <p><図書館見学> 12月には中央図書館から遠い、みずほ台小学校と針ヶ谷小学校の生徒が図書館見学に訪れた。どちらも熱心にスタッフの説明を聞いて、図書館に興味を持ってくれたようだ。</p> <p><クリスマスおはなし会> 毎年人気の企画である。今年も大人と子ども合わせて48名もの参加があった。赤ちゃんも参加していたが、人気のサンタ登場の際にはおとなしくプレゼントをもらっていた。</p> <p><クリスマス工作会> こちらも毎年人気のイベントである。申込開始の当日に満員に達した。工作好きな70代、80代の方にもご参加いただけた。今年のクリスマスカードは少し難易度が高いものであったが、スタッフのフォローもあり、全員完成することができた。 「難しいけど楽しかった」「また参加したい」という感想を多くいただいた。</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p><新春 貸出福袋> 毎年恒例の貸出福袋。開始3日目で42セットすべて貸し出した。去年ここで、アンケートが3枚しか回収できず、何とかしなくてはならないという話をしたが、今回、アンケート用紙にタイトルを印刷し、「返却する本にはさんでお返し下さい」の一文を入れると、20枚ほど返って来た。</p> <p><おはなし講座「ストーリーテリングを学ぼう」> 全3回の素話の講座である。 1回目の講座で9名いた参加者だが、やはり難しかったのか2回目の参加は4名に減った。しかしこの4名は素話を完璧に覚えていらしてすら話していた。</p> <p>【質疑応答】</p> |
| 委員長 | 福袋のアンケートの回答はどのような内容か。 |
| 図書館 | 「普段自分では選ばない本を読む事ができて興味深かった」という意見がほとんどであった。また、「毎年楽しみにしている」「毎年行って欲しい」という意見も多くいただいた。 |
| 委員長 | 人気があるのはどういう内容か。 |
| 図書館 | 今年は1月5日の開館とともにほとんど借りられた。ただ、大人の福袋のタイトルは、選んだスタッフのメッセージが入っているのだが、子ども用はタイトルのみであり（「お正月」とか「ゆき」とか）高学年用に作った「リボン」だけが本の中身がわかりにくかったせいか3日間残った。 |
| 委員 | 去年借りて良かったから今年も、という方もいたのか。 |
| 図書館 | いらっしゃった。ただ毎年1月5日の開館初日に入り口近くで展開しているので、初めて、こういったことをやっているのねと知っていただけの方も多かった。 |
| 委員長 | アンケート回収率の高さがすごい。 |
| 図書館 | 借りた本は必ず返していただくので、そこにはさんで下さい、といったところが良かったのかもしれない。 |
| 委員長 | 「おはなし講座について」1回目の参加者は何名くらいいたのか。 |
| 図書館 | 1回目は9人ほどいたが、素話が難しかったのか、2回目の参加者は4人に減った。残った方たちはみなすらすらと話していた。 |

| | |
|-----|--|
| 委員長 | 3回目は2回目と同じ本を話すのか。 |
| 図書館 | そのあたりは確認できていない。 |
| 図書館 | <p>【鶴瀬西分館】 資料に基づいて報告</p> |
| 図書館 | <p>定例事業について。 おはなし会、映画会、団体貸出、学校連携、地域連携は手元の資料の通りである。自主事業報告に移る。</p> |
| | <p><おりがみでつくるちいさいクリスマスツリー> クリスマス期間に、布地で作ったクリスマスツリーに、折り紙を折って貼り付けて、クリスマスツリーを完成させるものである。何年か続けて行っている。今年もたくさんご参加いただいた。</p> <p><展示 障がい者週間> 12月3日～9日の障がい者週間に合わせ、関連資料の収集・展示を行った。</p> <p><親子でクリスマス♪リトミックコンサート> 第一部は「親子でたのしむリトミック」第二部は「フルートとピアノによるコンサート」の構成で行った。コロナ禍では、なかなか制限ごとがあった講座だが、今年度は部屋いっぱい使ってリズムを親子に感じていただき、また楽しんでいただけた。</p> <p><24日は西の日> 毎月24日にイベントを行うことで、西分館を印象付けようという企画である。今月は12月24日であり、クリスマス関連の資料を2冊展示した。選んだ絵本の表紙はとてもきれいだった。また借りられた後も空かないように2冊並べる工夫をした。</p> <p><スペシャルおはなし会・いちぶえいご> お子さんの英語の初めての入口、お試しといった感じで参加していただく新規の方が多い。最初はお子さんも恥ずかしがっていたが、親御さんと一緒に話したり、歌ったりしているうちに楽しく過ごしていただけた。</p> <p><劇団うりんこ「ある晴れた夏の朝」公演 絵本専門士共催企画ポップ展示> 劇団うりんこの公演は、キラリふじみのマルチホールで行った。この『ある晴れた夏の朝』は、2018年のYAの課題図書に選ばれた本で、原爆投下がはたして正だったのか悪だったのか、アメリカの子ども達6人が討論し合う内容である。また「戦争」や「平和」「多様性」についての絵本の展示も行った。西分館では展示本のポップを作成し本の出張展示を行った。出演者・舞台関係の方・キラリふじみの関係の方をはじめ、観劇者である大人と子ども、皆さんに楽しんでいただけた内容であった。</p> |

<12月学校連携>

つるせ台小学校では、ひまわり学級での読み聞かせや、12月恒例の「スノーマンとスノードッグ」の上映会や、ぬり絵など行った。

「図書館の仕事をやってみよう！」では、ブッカーかけや、1月に出す福袋を小学生目線で選んでもらったりした。「富士見台中学校」YA サポーター交流会では2月に予定している YA サポーター主催のおはなし会の練習をした。

西中学校から依頼で職場体験の実施。この日はちょうどひまわり学級の読み聞かせの日であったので、練習をしてもらい、読み聞かせを体験してもらった。

<本の福袋>

28袋の貸し出しがあった。

<高校生ボランティアおはなし会>

高校生より授業の一環としておはなし会のボランティアをしたいという依頼を受けた。1組の親子が参加した。高校生が希望したタイトルが「発展途上国の子どもについて伝える」で、伝え方として、紙芝居を使うなどの工夫を行った。プログラムも分かりやすかった。参加した親子も満足されていた。

<本の中の昔の暮らし>

毎年行っている。18日はキッズ扇凧の作成と凧あげを、富士見市扇だこ保存会の協力で行った。この短い時間で扇凧を作るのは無理なので、扇の形のひごと和紙で作る凧を設計していただいた。大人も子どもも校庭で凧あげをした。糸の調整と風の向きが難しく、なかなかあがりづらかった。この日は本物の扇凧もあげた。本物の扇凧はずっとあがっていて、日に透けた染料が輝いてとても綺麗であった。

課題としては全員が出来上がる時間にムラがあったので、空いた時間に何か出来たらよいと感じた。

<本の中の昔の暮らし 聞いてみよう、遊んでみよう>

市民人材バンク協力。土日合わせて81名の参加。暮らし体験では、「わたくり」を使って、わたとたねに分けて、糸車を使って紡ぐということをした。糸車は1年生の国語の教科書に出てくる。興味を持った子は2日間やって来た。また、実際に食べる道具として昔のお釜や鍋など並べ、難波田城資料館の館長にご講演いただいた。スペシャルおはなし会では紙芝居自転車借りて、紙芝居を読んで、昔の雰囲気を高めた。

<24日は西の日>

1月も本の展示を行った。

<正月芝居 「令和版たのきゅう」>

図書館でお芝居を実施。集会室を上手に分けて使った。クイズや輪になってかるたも行った。

<1月の学校連携>

1月29日「ふゆを楽しもう」というテーマでブックトークをした。

| | |
|------------|--|
| <p>委員</p> | <p>「寒さの中でのあそび」のなかで、「風を使って遊ぶ」というテーマで学校から、扇風機の話などして欲しいと依頼され、体験談をお話した。</p> <p>その他、ご報告として夏休みに「読書感想文講座」に参加した児童が、富士見市で特選を獲り、埼玉県で入選した方が2組あった。</p> <p>【質疑応答】</p> <p>「おりがみでつくるちいさいクリスマスツリー」について。報告書の趣旨を読み、図書館の方たちが子どもたちにこんな優しく接してくれているのがわかってうれしかった。「スペシャルおはなし会・いちぶえいご」「高校生ボランティア」など、図書館員として出来る限り、見守りながら、サポートしながら子どもたちの成長に関わっていこうという気持ちを感じられてとても良かった。</p> <p>【ふじみ野分館】</p> <p>資料に基づいて報告</p> |
| <p>図書館</p> | <p>おはなし会、ぶんちゃんひろば、映画会、団体貸出、自主事業は報告書の通りである。</p> <p>外部連携として保育園では、ふじみ野保育園、慶櫻ふじみ保育園の園児全世帯に「ぶんちゃんしんぶん」を配布している。慶櫻ふじみ保育園、ふじみ野児童館ではアニメーションも行った。</p> <p>館内企画として、毎月来館したお子さんに折り紙を折ってもらい、廊下の壁面に飾ってもらっている。12月はクリスマスということで「くつ下」を折ってもらい、廊下の大きなクリスマスツリーに貼ってもらった。1月は2月にバレンタインデーがあるので、「クッキーを折ろう」という企画を行った。</p> <p><ぶんちゃんひろば12月「ハーブでつくるクリスマスリースと松ぼっくりツリー」></p> <p>普段は子どもがメインの講座であるが、この講座は初めて親子を対象にし、親子で一緒に取り組んでもらった。このワークショップを通して自分の周りの自然に目を向けるきっかけになって欲しいと思った。</p> <p><ぶんちゃんひろば1月 アニメーション『かぼちゃのスープのおふろ』></p> <p>『かぼちゃのスープのおふろ』という絵本は、動物たちがスープのお風呂に入って、スープの色に体が染まって戻らなくなってしまうというストーリーである。どうしたら元に戻るのか、子どもたちに考えてもらう企画である。参加者は少なかったが、子どもだけでな</p> |

く親御さんにも考えてもらい、絵を描き、発表をしてもらった。楽しい時間を過ごすことができた。

<忍者を知り、忍術を生活に活かす！>

忍者は子どもたちに大人気であるが、今回は大人向けの講座。講師から「忍術とは」「道具の説明」「忍者の呼吸法」「忍びの思想」「忍術の活用としての防犯、防災」などを生活に活かすというお話をしていた。集客は苦戦したが、20名の参加をいただいた。最後には忍者と写真を撮ったりして、皆さん楽しそうだった。

<大人のためのおはなし会 ～あなたに贈る春待月の語り>

毎年恒例の「おはなしボランティアすぶんふる」との共催。

語りがメインのおはなし会である。

「すぶんふるによる語り」「図書館員による絵本読み聞かせ」「耳つぼマッサージ（富士見市市民人材バンク登録者）」の3本立てで行った。

やはりすぶんふるの素話が大変すばらしかった。

参加者も年々増えており、すぶんふるさんが、市内の掲示板にポスターを貼って、宣伝してくれたのも大きいと思う。

<令和7年 新春貸出福袋>

3館共通の企画であるが、ふじみ野分館は包装紙で華やかさを演出している。

大人と子ども各16セット。スタッフは8名なので、大人と子ども各2セットずつ制作した。

福袋をめぐって朝一番に来てくださった利用者もいて、ありがたいと感じる。

<次世代の語り部と平和を考える ～ライアー（竖琴）演奏と共に～>

こちらの企画は「ふじみ野じゅく」で行った。「ふじみ野じゅく」はふじみ野交流センター主催で、毎月第3金曜日に行っている。

いつもは資料の提供だけであるが、今回は企画も担当した。

今年は戦後80年であり、その年の始まりにこういったことができうれしく思う。

「昭和館」の次世代の語り部の方にお話し、当時小学校5年生だった少女の目を通した戦中・戦後の暮らしの様子を語っていただいた。また講師が資料を調べて、埼玉県戦争時の生活の様子もお話しくださった。

ライアー（竖琴）演奏については、曲の背景に「戦争」や「平和」があるものを選曲し、その曲の背景を説明、その後演奏していただき心に沁みだ。

図書館では、「富士見市の戦争体験文集」より一文、朗読をさせていただいた。難波田城資料館が「70年前に戦争があった」という企画展をされたときの図録やDVDのご案内などもした。

| | |
|-----|---|
| | <p>参加いただいた方たちは、とても関心が高く、昭和館に何度か足を運んだことがある方、ご自身が戦争を体験されている方もいらした。また体験談をお話しされた方もいらっしゃった。とても良い時間を過ごせたと思う。</p> <p><慶櫻ふじみ保育園アニメーション「もりのなか」> 3回行うアニメーションの2回目。前回はふまえて楽しんでくれた。</p> <p><ふじみ野児童館アニメーション「もりのなか」> こちらは小学生が対象。本を楽しむことが好きな子たちが集まった。</p> <p><ふじみ野交流センター 壁面クリスマス飾り> 毎年、クリスマス会をふじみ野交流センター、にこにこひろば、ふじみ野分館合同で行っている。クリスマスを盛り上げようと、飾り付けなども行っている。今回、ショーケースにクリスマスの絵本を飾らせていただいたところ、ご覧になった方が、図書館に来てくれて、絵本についてお話しできた。うれしく思った。</p> |
| 委員 | <p>【質疑応答】</p> <p>昨年12月に開催された「忍者を知り、忍術を生活に活かす！」アンケートに、予定時間を超過したとあるが、どれくらい超過したのか。</p> |
| 図書館 | <p>道具の説明等に時間がかかってしまい、15分程超過した。</p> |
| 委員 | <p>アンケートに「その後の話こそ聞きたかった」とあるので、次回はもっと時間の配分に気を付けてプログラムを作ろうとの反省になったと思う。</p> |
| 委員 | <p>すぶんふるがいろいろなところで活動しているのが良く分かった。</p> |
| 委員 | <p>忍者のイベントは通常のものより、多くのPR方法を使用しているが、「ジモティー」を使用したきっかけなどあったのか？</p> |
| 図書館 | <p>当初の集客が鈍かったので、講師の方に相談したところ、講師の方がジモティーに投稿して下さった。</p> |
| 委員長 | <p><次世代の語り部と平和を考える>について こちらの参加者の年代はどれくらいだったのか？やはり次世代の方が多かったのか？</p> |
| 図書館 | <p>次世代の方も多かったが、戦争を体験した年代の方もいらした。</p> |
| 委員長 | <p>「次世代」とは、どのくらいの年代か。</p> |

| | |
|-----|--|
| 図書館 | 戦争を知らない世代、直接戦争を体験されていない世代のことである。 |
| 委員長 | とてもよいイベントだと思う、学生たちにも聴かせたい内容だ。また平日にもかかわらず25名の参加は素晴らしいと思う。戦後80年で、戦争体験された方たちというと90代の方たちか |
| 図書館 | 昭和館の語り部の方は、小学校に出向いてお話されている方が多い。 |
| 委員長 | 3館の報告を聞いて、他に質問等はないか。 |
| 委員長 | 中央の報告に、小学校の図書館見学が入っていたが、小学生の意識が変わってきたかなという気づいた事はあるのか。 |
| 委員 | 小学校の子は、自校の図書館しか知らない子が多い。それ以外の公共の図書館に出かけることで、選ぶ本の幅が広がる。2年生は遠出が難しいなか、図書館に出かけ、本を借りるという行為の中で、本がなかなか決まらない子もいて、図書館の方にはいろいろお力を借りたと思う。子どもにとっては学校の外に出るという事に意味があって、先生以外の方と、図書館の職員の方と関わることに意味がある。今後も続けていきたい。 |
| 委員長 | これ以外に図書館から報告等あるか。 |
| 図書館 | <p>何点か報告がある</p> <p>夏休みの課題にも入れてもらった「図書館を使った調べる学習コンクール」で勝瀬小の2年生の子が優良賞を取った。タイトルは「はじめまして チョコレートはかせです」チョコレートの事を調べ、実際に明治製菓の工場にも出かけ、最後に自分でチョコレートを作ったところまでをまとめたものである。</p> <p>先週、市長の所へ報告に行った。本日、市のHPにも乗る予定だ。素晴らしいのでぜひ見て欲しい。</p> <p>またポプラ社の「全国学校図書館 POP コンテスト」では勝瀬中学校の生徒が3名入賞した。ポプラ社のサイトで確認できるのでこちらもぜひ見て欲しい。</p> <p>学校司書の方の熱意と、学校の取り組みが素晴らしく、こういった形で現れたのかと思う。</p> <p>電子図書館の件であるが、2年ほど前に諏訪小学校はこちらからIDとパスワードを付与し、学校全体で使えるようにしたが、今年から富士見市内の小学校すべてにIDとパスワードを付与し、そのまま電子図書館を見てもらえるようにする。</p> |

| | |
|-------|---|
| 生涯学習課 | <p>学校にはすでに配布済みで、先生は3月1日、子どもたちは4月1日から見られる。 今後の利用率を見ていきたい。</p> <p>来年度より協議会の開催が年4回となる。 次回開催日については、通知となる。</p> <p>3. 閉会</p> |
|-------|---|